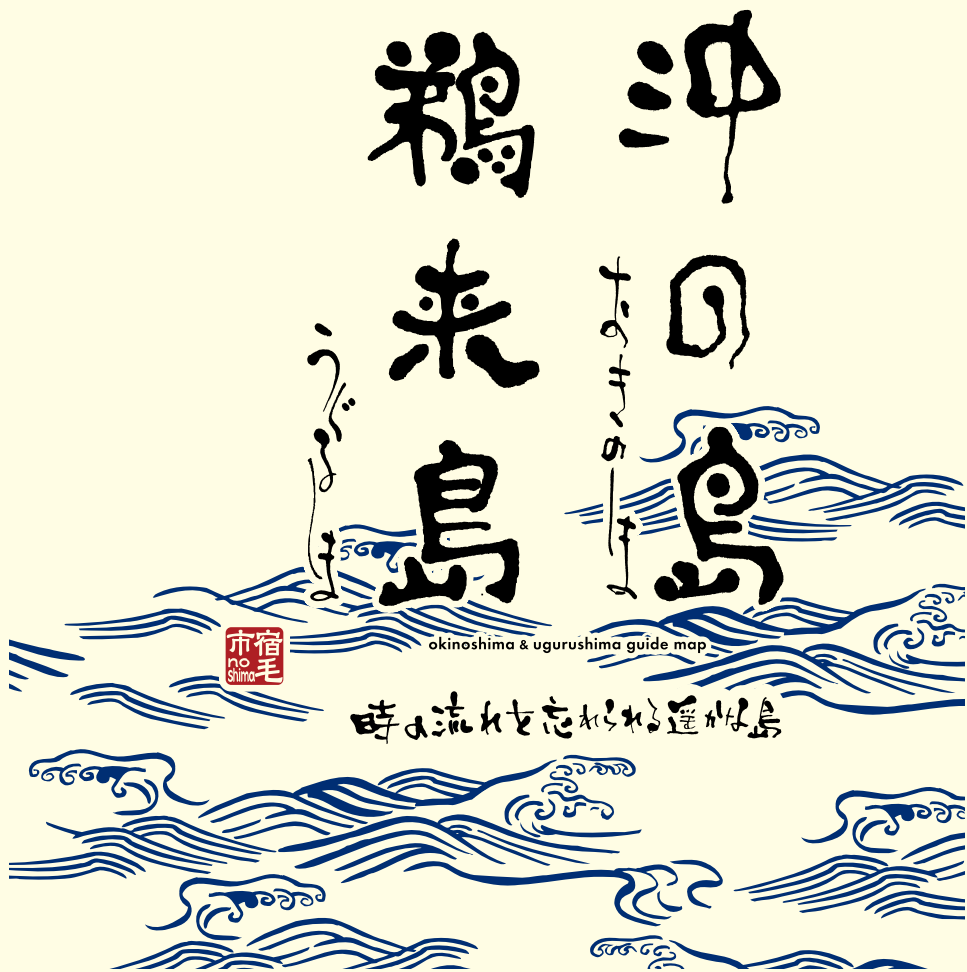




■ 宿泊施設のご案内 宿毛市(0880) 宿毛町(0880)



磯釣り、潮遊びのご案内

■ JR等 (土佐くろしお鉄道)	岡山 2:30 高知 2:20 宿毛 1:35 沖の島
■ 飛行機	東京 1:10 高知 岡山 2:00 高知 2:25 宿毛 2:50 松山 2:40 宿毛 3:30 高知 2:25 宿毛 2:20 高知 2:25 宿毛
■ 自動車	岡山 2:30 高知 2:20 宿毛 1:35 沖の島



船名	エスボール
電話番地	

■ タイムスケジュールのご案内



■ 市営定期船時刻表

足

--	--	--	--	--	--	--	--

沖の島 & 鵜来島観光

--	--	--	--



白岩山公園

母島集落と弘瀬集落の中間に位置し、太平洋に突き出しています。公園内の展望台からは視界270度の大パノラマと日本でも有数の透明度をほこる太平洋が眼下に広がり、星空の眺めは圧巻です。また、キャンプ場も整備されています。



セツ洞 (観音洞)

黒潮が白垂の断崖につくった大自然の芸術。いくつかの洞窟は中で繋がっており、内部は神秘的な世界が広がっています。



うと"ぬ浜

透明度抜群の海では足元に熱帯魚が遊び、シュノーケリングで色とりどりの魚や珊瑚などが見られます。運がよければウミガメにも会えるかも。



久保浦海水浴場

沖の島で一番大きな海水浴場です。浜は砂浜ではなく、丸い石でできています。シュノーケリングが楽しめます。



集落山石段・石垣

島の集落は急傾斜地にだんだん畑のように家が立ち並んでいます。集落内は花こう岩を使った美しい石段や石垣がとて印象的で、時間がゆっくり流れています。



山頂より姫島を望む



石段

古屋野集落にある日吉神社へ通じる急な石段。天に向かって昇っているかのような錯覚になる石段が145段続いています。



国境争い……沖の島は、もともと国境はなかったが、いすゞ佐土・伊予両国に二分されたのかははっきりしていない。弘瀬・谷尻は土佐領で、母島・久保浦・鶴来島は伊予領に二分され、室町時代には一度国境争いもあり、そのとき両者が話し合い確定した国境ができていたが、島内では両国に分かれていることが生活に支障をきたすため、再びより入りあって生活活動を行う共存の方法がとられた。しかし、江戸時代に入り、伊予側が伊予領の山の木の伐採と海での漁の禁制を行ったことにより、土佐側も土佐領の海での漁の禁制をして対抗策をとった。

その後、各藩に国の絵図を作れとの命令が幕府より下り、両藩でも絵図を作ったが双方の言い分が違い国境争いが表面化することとなった。両藩では話し合いにより解決しようとしたが決裂し、幕府の法廷で争われることとなり、四代將軍徳川家綱の時に15年に及んだ国境争いは土佐藩に有利な内容で落着いた。

廃藩置県後の明治7年、沖の島と鵜来島は高知県に移管され、現在に至っている。

鵜来島



宿毛市片島より、海上遥か23.3km、高知県の最西端に位置しています。島内は道路が無く車が1台も無い島で、時が止まったような感覚が味わえる心癒される島です。港のすぐそばではテーブルサンゴや熱帯魚が見られます。鶴来島の名

の由来は、鶴がよく来たのでこの地名になっただろうとされています。また、戦時中は海軍の大砲が3基設置されており、日本海軍の要塞の島となっていました。

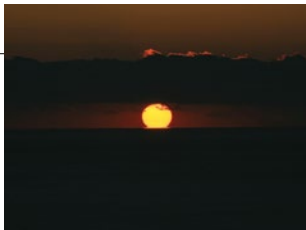


三浦家一族小墓

鎌倉時代に政敵北条氏におわれ、三浦半島からのがれて沖の島に上陸し、仏が峠に住居を構え生活したのが三浦家一族であり、沖の島最初の定住者であるとされています。三浦家一族の墓は沖の島中央部にある妹背山より登山道を800mほど弘瀬側に下った場所にあり、数十基の石碑が並び、今も島民から「ご先祖様」と呼ばれています。



最初はお地藏様33体であったが、弘瀬集落の人達の願掛けとして徐々に数が増えて行き、現在120体が妹背山山頂から少し弘瀬側に下った登山道脇にたらずんでいます。



だるま

光の屈折により太陽が水平線にだけ
込んで、あたかもダルマのように見え
るため「だるま朝日・夕日」と呼ばれて
おり、沖の島ではその両方を見ること
ができます。見える条件は、大気と海水
の温度差が大きい冬場、冷え込みが厳
しい晴れた日に海面から立ち上がる水蒸気によって光が屈折して発生します。
11月～2月にかけて見るができます。



ダイビングのメッカ 沖の島

ダイビング

沖の島・鵜来島周辺海域は、日本でも有数の透明度を誇っており、絶好のダイビングポイントが数多く存在します。大規模な珊瑚礁や熱帯魚をはじめとする約1,000種類を越す様々な魚たちが生息しています。



磯釣り

沖の島・鶴来島周辺は、日本屈指の大型グレ(メジナ)や大型イシダイの釣り場として知られ、大物狙いの太公望たちが全国から訪れています。

沖の島・鵜来島